

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和元年 6月 12日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島 眞由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井 賢聖

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	子育て支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行政	子育て支援課
事業の目的	<p>児童福祉法に定められた子育て支援事業の一つ。地域における子育てを支援するため、子育て中の親子の交流の場の提供、子育て相談、地域の子育て関連情報の提供など、子育て支援センターの運営を行う。</p> <p>(美南子育て支援センター及び中央子育て支援センター)</p>	
事業の内容	<p>(1)子育てサロン等子育て支援事業の展開</p> <p>(2)出前講座の開催</p> <p>(3)吉川市子ども・子育て応援サイト「よしよしねっと」の管理運営</p>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>利用者数(延べ)</p> <p>美南子育て支援センター: 11,229 人</p> <p>中央子育て支援センター: 6,756 人</p>	
協働事業決算	総額 13,116,000 円	
	簡単な内訳	<p>委託料 (内訳)</p> <p>人件費 12,285,450 円</p> <p>消耗品 80,000 円</p> <p>負担金等 65,200 円</p> <p>研修費 15,000 円</p> <p>講師謝金 60,000 円</p> <p>賠償保険等 45,130 円</p> <p>その他 565,220 円</p>
実施期間	平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：平成31年4月23日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 情報の共有化を図るため、直営を含めた3か所の支援センターが参集し、拠点会議を開催している。その際、事業の進捗状況や各拠点で抱えている問題点を出し合い、共通認識を図っている。  <b>【行政】</b> 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 利用者同士のトラブルに関する対応方法や保護者支援について情報共有し、改善策をとることで、より一層安心して、利用しやすい施設になるよう努めている。  <b>【行政】</b> 同上		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	平成31年 2月 1日	
記入者	団体等名	吉川市民まつり運営委員会
	記入者名	鈴木 邦夫
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	高橋 美樹

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	吉川市民まつり助成事業	
事業の実施者	団体等	吉川市民まつり運営委員会
	行政	市民参加推進課
事業の目的	吉川市民まつり運営委員会に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、市の物産品や市内企業の PR 及び活性化を目指し、より一層ふるさとづくりを推進することを目的とする。	
事業の内容	市民が互いに交流を深め、コミュニティづくりの推進を図るとともに、市民文化の向上や農業・商工業等の振興に寄与するため、吉川市民まつり運営委員会を設置し、市民が主体となった企画・運営で市民まつりを開催する。	
事業の実績	開催までに、市民を委員とした企画会議及び運営委員会を計6回行い、企画等の意見を交わした。まつり当日は市内外から多くのお客様が来場し、大いに賑った。来場者アンケートでは「また来たい」との回答を96%いただき、多くの来場者から「毎年楽しみにしている」との声もいただくことができた。	
協働事業決算	支出総額 3,831,290 円	
	簡単な内訳	印刷費(299,720 円)、会場費(3,127,103 円)、備品購入費(85,140 円) 消耗品費(23,811 円)、イベント事業費(102,216 円)、交流事業費(180,000 円) 事務費(13,300 円)
実施期間	平成30年 5月 30日 から 平成31年 1月 30日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日：平成31年 2月 1日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 新庁舎前での初の市民まつりである事から、昨年永田公園を会場とした市民交流部門以外の部門を新庁舎前に戻した為の対応として、会場レイアウトや搬出入を含めた出展ルールについて及び昨年度来場者・出展者等の意見を取り入れた喫煙所の設置について行政と十分に協議した。 <b>【行政】</b> 昨年度の市民まつりを開催した際に来場者や出展者などからいただいた意見をもとに喫煙所の設置場所や搬出入ルールについて話し合った。 また、新庁舎建設後初めての市民まつりであったため、会場レイアウトや出展ルール等について企画会議及び運営委員会で団体側とお互いの視点から綿密に意見交換を行うことができた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 開催時間・会場周辺の駐停車による混雑・図書館閉館による駐車場確保・事故防止の為の食品及び火器の取扱い等、アンケートや今年度運営委員からの改善案や意見を次年度の運営委員会で綿密な打ち合わせを行って改善していく旨を共有した。 <b>【行政】</b> 来場者・出展者アンケートや運営委員から受けたご意見等（開催時間や駐車場の確保、会場周辺の車両の駐停車による混雑など）について団体側へ報告し、現委員から改善案やご意見をいただいたので、来年度の運営委員会にて具体的な改善策を検討していく旨を共有した。		

# 吉川市民まつり助成事業について

## 1. 吉川市民まつり運営委員会について

### ①委員構成

吉川市民まつりを構成する5部門（交通安全まつり部門、商工まつり部門、農業まつり部門、健康福祉まつり部門、市民交流まつり部門）から、それぞれ若干名（例年、各部門3名）ずつ選出された委員で構成される。

各部門の代表者は、運営委員会の役員に選任され、輪番制で運営委員長（1名）・副委員長（2名）・監事（2名）を務める。

なお、運営委員のうち、役員を除く者は企画委員を併任する。

### ②審議事項

まつりの全般的な企画及び調整、予算・決算などについて審議を行う。

なお、企画委員で構成される企画会議では、総務班とイベント班に分かれ、まつりの詳細な企画及びイベント等を検討し、実施案を作成し、運営委員会へ提案する。

### ③任期

1年間

### ④会議

①運営委員会（5月・8月・10月・2月の全4回）

②企画会議（6月・7月・8月の全3回）

## 2. 令和元年度の実績について

①全体テーマ 繋ごう～令和～そして未来へ 吉川市民まつり

②開催日時 令和元年11月17日（日）午前9時45分～午後3時  
 ※交通安全パレードは午前9時から関小学校～おあしす間で実施  
 ※農産物品評会は前日も開催

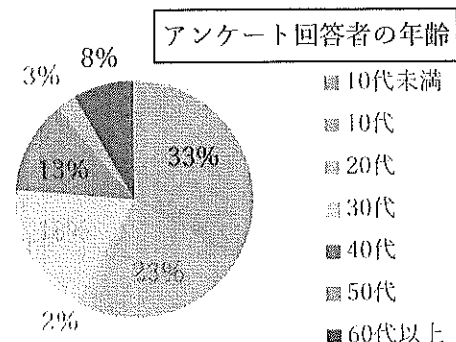
③会場 市民交流センターおあしす、永田公園

④出展団体数	交通安全まつり部門	10団体	} 合計162団体
	商工まつり部門	80団体	
	農業まつり部門	7団体	
	健康福祉まつり部門	28団体	
	市民交流まつり部門	23団体	
	ステージ出演	14団体	

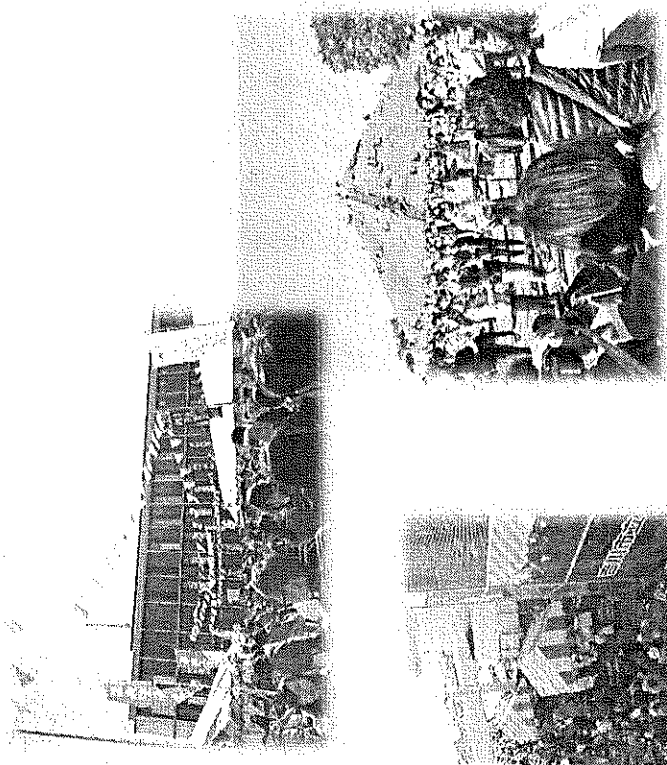
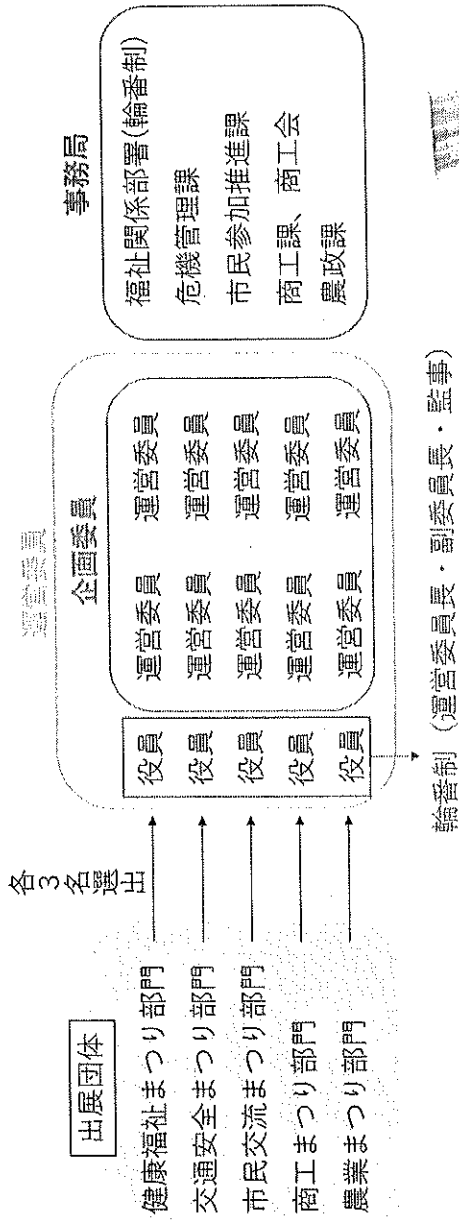
⑤企画イベント スタンプラリー&吉川ものしりクイズ、なまりんに会おう！、国際屋台村、  
 （新規）中学校吹奏楽演奏、（新規）子ども神輿体験・お囃子演奏 等

⑥アンケート スタンプラリー景品交換所にて、  
 来場者アンケートを実施

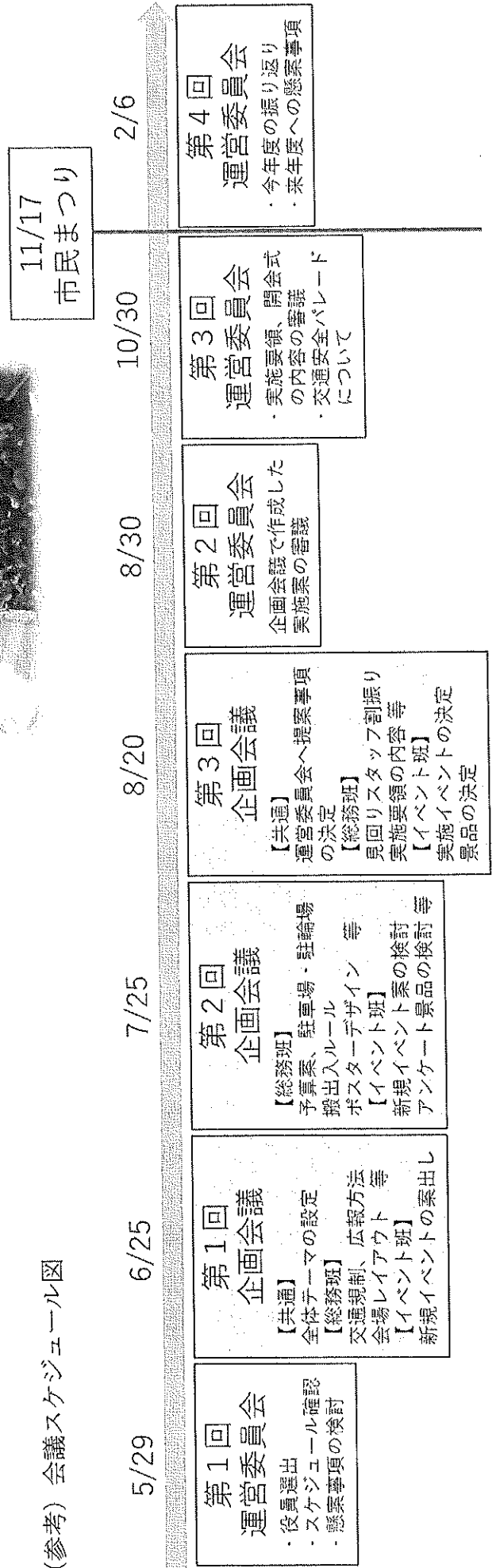
回答数	110人
回答結果	また来たい：109人 来たくない：0人 わからない：1人



(参考) 吉川市民まつり運営委員会組織図



(参考) 会議スケジュール図



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	平成31年 4月23日	
記入者	団体等名	関小アドバンスクラブ
	記入者名	吉澤 力
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	石橋 ゆみ

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	子どもの体験活動事業																									
事業の実施者	団体等	関小アドバンスクラブ																								
	行政	教育委員会生涯学習課																								
事業の目的	家庭・地域・学校が一体となって子どもの生きる力を育むため、各小学校区で実行委員会を設置し様々な体験事業等を企画し、子どもたちに奉仕活動や体験活動などを推進する。																									
事業の内容	工作教室や将棋教室、飯ごう炊さん、書道、フラワーアレンジメントなどの体験活動を実施する実行委員会へ交付金を交付する。																									
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>(平成30年度実績)</p> <table border="0"> <tr> <td>○吉川小学校区</td> <td>7事業</td> <td>265名</td> <td>○北谷小学校区</td> <td>3事業</td> <td>203名</td> </tr> <tr> <td>○旭小学校区</td> <td>2事業</td> <td>69名</td> <td>○栄小学校区</td> <td>4事業</td> <td>330名</td> </tr> <tr> <td>○三輪野江小学校区</td> <td>3事業</td> <td>500名</td> <td>○中曽根小学校区</td> <td>15事業</td> <td>137名</td> </tr> <tr> <td>○関小学校区</td> <td>16事業</td> <td>2,170名</td> <td>○美南小学校区</td> <td>26事業</td> <td>1159名</td> </tr> </table>		○吉川小学校区	7事業	265名	○北谷小学校区	3事業	203名	○旭小学校区	2事業	69名	○栄小学校区	4事業	330名	○三輪野江小学校区	3事業	500名	○中曽根小学校区	15事業	137名	○関小学校区	16事業	2,170名	○美南小学校区	26事業	1159名
○吉川小学校区	7事業	265名	○北谷小学校区	3事業	203名																					
○旭小学校区	2事業	69名	○栄小学校区	4事業	330名																					
○三輪野江小学校区	3事業	500名	○中曽根小学校区	15事業	137名																					
○関小学校区	16事業	2,170名	○美南小学校区	26事業	1159名																					
協働事業決算	総額 383,600円																									
	簡単な内訳	交付金383,600円																								
実施期間	平成30年 4月 1日 から 平成31年 3月31日 まで																									
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助																									

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。(○×式)

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	—
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	—

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日：平成31年4月23日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> ・活動拠点である、学校の先生方の協力は不可欠であること。 ・講師の先生方の協力なくして成り立たない事業である。(地域の方々の協力)  <b>【行政】</b> 活動を継続するにあたって、人材の確保が難しい学校区があることを話し合い、事業に負担をかけずに行える手法を話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> ・離任される担当の先生方が、引継ぎ等をスムーズに行うことが重要 ・年度が替わる時には、新しい体制において打ち合わせ等を実施する <b>【行政】</b> 生涯学習メニューブックの活用やイベントの共同開催などにより負担を軽減する手法を共有した。		



## 子どもの体験活動

子どもたちに様々な体験を通して「生きる力を育み、家庭・学校・地域社会が一体となって、地域で子どもを育てよう」という機運を醸成し、各小学校区の実行委員会が体験事業を提供し、奉仕活動・体験活動などを推進します。

### 平成30年度実績

学校名	事業数	参加人数	活 動 内 容
吉 川	7事業	265人	和菓子作り体験、八坂祭り山車体験、餃子作り体験、茶道体験、鮭の放流会 など
旭	2事業	69人	冷やし中華&豆腐きなこプリン、郷土かるた&小麦まんじゅう体験
三輪野江	3事業	500人	昔のあそび体験、消防士体験、しおりづくり体験
関	16事業	2,230人	将棋教室、お楽しみパソコンタイム、書道教室、フラワーアレンジメント、サッカー教室、石けんアート、らくらく手芸教室 など
北 谷	3事業	203人	飯ごう炊さん体験、流しそうめん、宿泊体験教室
栄	4事業	330人	料理教室、流しそうめん、おもちつき大会、みんなで遊ぼう
中曽根	8事業	137人	書道教室、将棋教室、フラワーアレンジメント教室、料理教室、カラーボール工場見学、トールペイント、アイシングクッキー など
美 南	9事業	1,159人	タグラグビー、和菓子作り、工作体験、子ども神輿体験、ハロウィンイベント、恵方巻作り、ケーキ作り など
合計	52事業	4,893人	

